

さわやかトカラ情報

南北160km

「心をつなぎ 気概に満ちた」十島の教育

十島村教育委員会
〒892-0822鹿児島市泉町13番13号
TEL 099-227-9771

【大きく動き出した1年！】

そして新たな1歩を踏み出すために!!

十島村教育委員会教育長 木戸浩

今年5月8日をもって新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、様々な活動が活発になった感じがします。鹿児島県では、高校生による全国総合文化祭が県内で開催され、全国各地から数多くの高校生が集まり、若い力を発揮し交流を図っていました。

また、特別国民体育大会と特別全国障害者スポーツ大会も開催され、スポーツの感動を県内の方々に届けていただきました。十島村では炬火リレーやデモンストレーション競技として、トカラマラソンを実施し、国体の雰囲気を感じました。

経済活動も少しずつ動き出し、島内の行事等も多くなり、今年度の運動会や文化祭では大勢の参加者により盛大に開催することができました。コロナ以前の状況に近付いてきたのではないのでしょうか。マスクを外し、「笑顔」の見える状況はやはり嬉しい限りです。

◇ PDCAサイクルで振り返ってみると

Plan=計画, Do=実行, Check=評価, Action=改善というのが、PDCAサイクルのことです。本来は企業などの業務効率を改善するために使われる言葉です。自分自身のこの1年を振り返って見たときに、計画はしっかりと立てられたか？それを実現するためにどのように実行したか？どこが上手くいったか、何が問題だったかを評価したか？また、それをどのように改善していけばよいか？そして次の計画につなげていくこととなります。これをずっと繰り返すことで改善し、成長につなげようということです。なかなか難しいですね。単純に考えると、今年を振り返り、上手くいったことは認めつつ、上手くいかなかったことや失敗したことを次に活かそうということです。反省点はありますが、良かったなあということもありません。良い振り返りをして、来年につなげたいものですね。



◇ 大谷曼茶羅チャートで次への飛躍を！
アメリカ大リーグで活躍し、今年最大の注目を集めた大谷翔平選手ですが、彼は高校1年生の時から、目標とする自分の姿を、曼茶羅チャートに書いて、それを修正しながら、大リーグでの活躍につなげているということです。

彼の高校1年生の時の中心目標は「ドラフト1位」を8球団から指名されることにしたそうです。そのために8つのことを掲げています。「体づくり」「メンタル」「人間性」「運」「変化球」「スピード160km」「キレ」「コントロール」とこれらを身に付けるために、それに付随することを更に詳しく記入し、実行していき、現在に至っています。

私たちになかなか実行が難しいかもしれませんが、これをヒントに今年1年をしっかりと反省し、来年に向けての目標を立てていければと思います。

年末・年始にかけて人の往来も多くなると予想されます。今年度は新型コロナウイルス感染症よりもインフルエンザが猛威をふるいそうです。基本的な対策はどちらも同じです。来年も皆様が飛躍できることを期待したいと思います。佳い年をお迎えください。

ニュースポーツ体験 口之島 諏訪之瀬島

【口之島会場】



ラダーゲッター



【諏訪之瀬島】



バグゴ



【新聞に投稿】

令和5年10月28日 南日本新聞「若い目」掲載

十島村の九小島に山海留学生として来て初めての春、鹿島の運動会に参加しました。前回の運動会では、竹馬リレー、輪舞など多岐にわたる競技を行いました。地域の方々との交流も大変楽しかったです。来年はもっと頑張りたいと思います。



小島島中3年 浜崎花和

充実した生活に

十島村で学ぶ

【感謝～平島での成長～】
平島中学校 2年 金子ひなな

私は中1の春、平島にやってきた。自然の沢山の存在を知った。ここなら絶対に楽しいだろうなと思う、留学を決意した。実際、平島では私の予想以上に、自然の中での体験ができていた。一番楽しかったのが、夏の海での体験だ。私は平島で初めてシュノーケリングやサーフィンに挑戦した。海の雄大さや、初めて波に乗れた時の事が、特に印象に残っている。私はこの平島で、今までなじみのなかった自然にふれ、沢山の楽しい思い出を作ることができた。でも、楽しい思い出とは裏腹に、大変だったり、辛かったりした記憶も少なくはない。仕事が詰まって焦ったり、人間関係や自分の事について悩んだりした事もあった。それらは、島に来る前にはなかった事だった。しかし、それを踏まえた上で、私はこの島に来て本当に良かったと思う。色々悩んだ時期も、私にとって必要だったと今では思う。人は、悩まないで成長しない。だから悩んだ時期をバネにして、大きく跳ぼう。そういう考えが芽生えたのは、この島で、何度も根気強く叱ってくれる寮監さんとお話したからだろう。普段は素直になれないけれど、本当は感謝しかない。

【宝島小・中学校からのメッセージ】
教諭 木村竜平

宝島小中学校に赴任して1年8か月が過ぎました。青い海と青い空、爽やかな風に吹かれて、充実した毎日を送っています。

宝島に来て、人の温かさや優しさ、美しさを感じる事がたくさんあります。学校行事や活動は、島民の皆様のおかげで成り立っているものも多くあります。お願いをしたときに快く引き受けてくださったり、助言をくださったりします。それだけではなく、普段の生活の中でも島民の皆さんからの何気ない言葉かけ、行動に助けていただくことが多くあります。先日も庭の草刈りやハイビスカスの剪定を行い、切った枝や草をまとめて庭においていました。3日後に気が付いた時は、全てが綺麗さっぱりなくなっていました。きっと気がついた島民の方が処分して下さったのだと思います。他人のために労を惜しまず、心を感じるたびに、宝島に来ることができて良かったと心から思います。宝島への赴任が決まった時、前任校の同僚から「宝島は美しい島だよ」と言われて送り出されました。自然が豊かで綺麗な島というイメージを持っていましたが、海や自然の美しさ以上に「人の心の美しさ」を感じています。

私自身、宝島でまだまだ、なんの役にも立っていませんが、少しでも恩返しができるように、今の自分ができることを精一杯頑張りたいと思います。

『教職員仲間であるあなた』への 私からのメッセージ

土曜日のフェリーに乗ると、お昼には宝島に着きます。日曜日のフェリーで、どの島にも午前中に帰島できます。ストレス溜まって、お酒が飲みたいと思ったら、思い出してください。「そうだ宝島へ行こう！」

令和5年11月9日 南日本新聞「若い目」掲載

平島小中学校では年に一回、総合的な学習の時間に豆腐作りをしています。島豆腐の製法で作られています。今年度は10月14日に行われました。事前学習で疑問に思っていたことや作り方を事前に確認し、子どもたち一人ひとりが役割を分担して、真剣に取り組んでくれました。豆腐が焦げないように竹で混ぜ棒で混ぜる「豆乳が焦げないよう竹で混ぜる」は、今年度初めて挑戦しました。味も食感もとても良かったです。みなさんで頑張ったおかげで、美味しくいただきました。みなさんで頑張ったおかげで、美味しくいただきました。

豆腐作り守りたい

平島小6年 小和瀬 栞

